

磐城時報

日刊 第二夕
編輯者 石城郡平町 田中弘成
印刷者 石城郡平町 田中弘成
發行所 石城郡平町 田中弘成
電話 一四〇
代金 一ヶ月 金五拾圓
半年 金九拾圓
一年 金一拾八圓
廣告料 一行 十四字 金五拾圓
日刊 (日曜、祭日) 休刊

平町の土木工事 補助を縣會に提案

役場に調査報告方通牒

平町道路改修費三萬五千圓、橋日午前十時水戸市から來平町梁(高麗橋)四千六百圓、排水工役場に休憩し三春町に向つた。事一萬一千圓、合計五萬六千圓の七年度工事に對しかねて縣補助申請中のところ縣では不況對策として失業者をも救済する意平郵便局の電話加入申込みは三味から近くこれか調査の上來る臨時縣會の決議を経て着手する模様で一日縣から役場にこれが調査報告方の通牒があつた。

申請十名

初日の豫定人員よりも多く十口に達し昨年の皆無に對し非常に好成绩であつて何れも商人の申込みで架設費二百四十圓と加入登記料十圓計二百五十圓の第一回拂込に近くある等で同局では初めの加入豫定者に反し却て豫定額より多額を感してゐる。

明大學生の自動車來る

時事新報社後援の明大學生の物外加入申込みが多かつたの産集め自動車競走選手一行は二に奇異を感じてゐる。

中等校武道大會で福師と福中優勝

きのふ平町で舉行

縣下中等學校武道大會は既報の如く一日午後八時から平町磐城中等學校講堂で舉行したが柔道は福島中學、剣道は福島師範優勝した、各校得点並に個人優勝者左の如し

- 柔道 (各校得点)
- 八十六福中 八二田中 七十九選中 七十六會中 七十二福師 七十二双中 六十九相
- 個人優勝
- 一番選手 福商 佐藤 三男
 - 二番選手 福師 齋藤 貢
 - 三番選手 雙中 吉田 遠平
 - 四番選手 福師 佐久間 喜三
 - 五番選手 田中 久保田 丑三

渡警察部長 歡迎會開催

歡迎會開催

渡警察部長は四日來平する事既報の如くであるが、平町では伊藤署長、伏見町長、井上、野崎藤原各縣議發起となり四日午後六時から谷口樓で歡迎會を開く。

時計屋に盗賊押入る

盗賊押入る

四倉町字本町十三番地時計商瀨谷友林氏宅へ一日午後十時半頃勝手口の硝子戸を破り盗賊忍び入り店の懐中、腕時計、計九個價格五十餘圓を盗取して逃走をなしたので四倉署では犯人嚴探中である。

火事で活躍した水兵さん

平署で表彰方を申請

石城郡飯野村大字小泉三十一軍艦岩手乗組水兵松崎秀雄(二四)君は一日午前三時二十分頃平署着列車で暑中休暇のため歸郷偶々同五十分頃平町南町七十一年安藤市三郎方の火災を逸早く発見軍服のまま現場に急行消防手と協力危険を冒して消火に努めたので平署では一日縣當局に表彰方を申請した。

客本位に規則が變る

規則が變る

鐵道省のお客本位サービス第一の取扱い規定が一日から全國省線一齊に實施される事になつた。▲途中下車回数制限がなくなり▲拂戻しの請求が簡單となり▲手帳料十錢を拂へば拂戻しが出來、發病旅行中止の際の醫師の診断書が不要となり▲乗越賃金は從來の如く乗越歸港したが、大体左の如くである。

野菜を賣つた金でカフエーに耽溺

不眞面な青年もある

石城郡平窪村では過般來製産者より直接需要家への主義のもとに青年が毎晩青物をリヤカーに満載して平町に進出殺到してゐるが、一部の連中は自家を出る時の野菜の數量に比し持歸る現金があまりに僅少で家人には平氣も不景氣で賣價が減法に安いといひ譯してゐるが、不審を抱いて取調べて見ると、この連中は連夜カフエーで白粉臭いサイビスにうつつをぬかして居たものと判明猛然たる非難の聲が起つて來た。探聞するに甚だしいのは飲米代がはりに胡瓜、茄子、南瓜を、カフエーにあつてそのカフエーは翌日にその附近に販賣してゐるものさきあり、最近十二頃になると町はづれのカーフエー前には必ず二三臺のリヤカーのあるのを見受けられる。

内郷の放火

内郷の放火

石城郡内郷村堀澤築井留次郎方裏手より一日午後零時ころ出火したが大事に至らず消し止めた、取調べの結果同様の菅野廣次(四五)の恨みの放火と判明明人を檢舉取調べ中である。

本縣沖の鯉魚場

磐城丸第六回調査

小名濱町水産試験場磐城丸は第7月六回鯉魚場調査のため去る七月二十一日出帆二十八日午後六時歸港したが、大体左の如くである。

のと見られてゐる、販賣方法も委託販賣によれば一層好都合で加工としては目下のところトマト、ナス、ケチャップ等その他廢物利用方面で秋の青いものはピククル酢漬として一般に歡迎されてゐるので今後この栽培法も研究し現在反植付二千四百本を箱植として土地利用收穫増加を計畫中で石城地方に適してゐる種類は「ベスト、オー、ノール」スパーキスアトリヤン「の早生英國種とされてゐる。

景品付賣出し
ニリツトル
瓶詰・六〇
一本御買上毎
福袋 一ヶ早上
御中元贈答品好適
來八月二十日限り

經四十五度二十八分) 七月二十四日午後二時三十分より四時間の間に鯉付魚群に會せたるも鯉付不良にして七八百の鯉五百尾、一、二貫目のめばら三十尾釣獲す。

第二漁場 塩屋崎東微南二分一南二百六十五度、水温二十四度五分(北緯三十六度十二分東經四十六度二十一分) 七月二十五日零時十分より三十分流水付シラを發見し七八百より二三貫目の鯉五百五十尾釣獲す。

第三漁場 塩屋崎東微南二分一南二百五十五度、水温二十五度五分(北緯三十六度十四分東經四十六度十三分) 七月二十五日午後四時より同五時半の間に鯉付魚群に會ひたるも鯉付不良にして七八百の鯉二千尾、八九百のめばら百尾釣獲す。

第四漁場 塩屋崎東微南八分六分(北緯三十五度五十五分東經四十七度八分) 七月二十六日午前十一時より午後一時の間に鯉付鯉大群に會せたるも鯉付良好なりしも魚脚早きため七八百の鯉千八百尾釣獲するに過ぎず。

▲トマト栽培獎勵
石城農試分場のトマトは早、中晩種の種類數十種に上つてをり農事講習生の行商隊が平町地方への進出によつて好成績を収めて十五分程經過で發見引あげ應急手入るが反當り約二百五十圓の收當を施したが遂に蘇生せず、浪江署から黒坂部長出張視察の上兄恒雄に引渡したが、同人は晝この内肥料手間賃等約一割を差食の際ビールを飲み海中に入り心臓麻痺を起したものであると

富岡支局から 双葉郡新山町大字新山字廣町富澤イト方居住田村郡移村大字上杉生れ片倉組製糸會社養蠶教師石井文五郎(三三)は三十日午後二時頃同町郡山海岸において海水浴中波にさらはれ行商不明となつたが約十五分程經過で發見引あげ應急手入るが反當り約二百五十圓の收當を施したが遂に蘇生せず、浪江署から黒坂部長出張視察の上兄恒雄に引渡したが、同人は晝この内肥料手間賃等約一割を差食の際ビールを飲み海中に入り心臓麻痺を起したものであると

